

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 10月 10日

事業所名 生き生き運動クラブ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6				
	2	職員の配置数は適切である	6				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	1	・賃貸の為バリアフリー化が難しい ・2階ということもあり身体の子どもの受け入れをしていない	・賃貸という事で階段の手すりなど難しい点もあるが、雨の日など安全指導を徹底していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			・ガイドラインの保護者向けアンケートを実施し業務改善へ繋げている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	3	・第三者による外部評価は受審していない	・将来的に第三者による外部評価を考えていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・個々の発達段階にあわせ運動を通した療育プログラムを作成	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		1	・ツールは使っていない	・現在使っているアセスメントツールを見直し、職員全体が把握できるようにする
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			・1回のプログラムに個別活動と集団活動が入るように設定している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2			・支援開始前に前日の振り返り、当日の内容を確認。職員間で情報共有を徹底
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		・時間内でできる時はする	・支援終了後の打ち合わせが難しい為、翌日に共有
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			・最長6か月ごとに見直しを行い、評価や目標の見直しを行っている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			・保護者とも連携を取り調整を行っている・送迎時に行ったり、HPを調べたり	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	1	・開所以降、医療ケアの必要な子どもの在籍がない・保護者より間接的にきいている・いままでない	・医療的ケアが必要な子の受け入れがあれば、主治医などと連携体制を整える
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3		・保護者からの聞き取りを行っている・相談員を通して情報共有している	・情報共有は積極的に務める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	1	・1年就労者がいたが連絡していない。保護者から1年目楽しく通っていると聞いた	・今後学校を卒業する子も出てくる為、積極的に情報提供を行い連携を取れる体制を整える
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		・県などの研修に参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	1	・年に一度ポッチャ大会に参加していたが、今年度はコロナウイルスの件もあり外部との交流が実現できていない	・現在利用している子ども達の状況を踏まえ、外部との交流は慎重に進めていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2		・保護者の方には家族支援として個別に対応しているが、ペアレント・トレーニングの実施には至っていない	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・会報は年に一度発行。活動の様子などの写真は個人的に送っている	
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	2		・特に必要性を感じていない。外部との交流を嫌がる子もいる為、慎重に進めるべきと考えている

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1			・受け入れ前に食物アレルギーを必ず確認
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2			・事例検討会などを積極的に行う